



外国人留学生宿舎「牧島ハウス」に入る留学生たち＝3月29日、福井市の福井大文京キャンパス

福井大留学生に新宿舎

文京キャンパス入居始まる

福井市の福井大文京キャンパス内に外国人留学生宿舎「牧島ハウス」が完成し、留

学生の入居が始まった。真新しい部屋に荷物を運び入れ、新生活に期待を膨らませた。

非常勤講師の宿泊や、茶道や華道など職員の活動に使われていた福利厚生施設「牧島荘」を改修した。留学生に良質な宿舎を提供し、地域で生活しやすい環境を整えるのが目的。

鉄筋コンクリート2階建てで延べ床面積は589平方メートル、約14平方メートルの居室が20室あり、ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、エアコン、ベッド、机を備えている。初年度は、18室が福井大、2室は県立大などの留学生らが使用する。共有スペースの談話室や和室もある。福井大教育学部で学ぶ台湾出身のワン・イーシーさん(21)は「日本の文学、歴史が好きで小さいころから日本に留学したいと思っていた。福

井でいろいろな場所に行くつもり。すごく楽しみ」と話していた。将来は日本語の教師を目指すという。

総事業費は1億2469万円、県補助金3743万円を活用。昨年7月に着工し3月15日に完成した。(近藤洋平)